

代表質疑

3月7日に、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者4人が、平成18年度予算について、質疑をしました。要旨は次のとおりです。

福祉市民の切実な声を 市政に生かせ



民主市民連合 高谷 真一朗 幹事長

議員 交付税不交付団体の本市の視点から考えた三位一体の改革の課題は何か。
市長 国と対等な立場で要望活動等を積極的に行い、市民がより満足する市政運営に努めていきたい。

議員 第3期介護保険事業計画に基づき介護保険事業が展開される。①要支援、要介護1・2で在宅介護サービスを受ける市民への影響を予測し、セーフティ・ネット策を確立することが必要だ。②税制改正による市民負担増について聞く。
健康福祉部長 ①適切なケアマネジメントを行う②非課税から課税になる高齢者は、保険料の区分段階や利用者負担段階の変化で負担増が見込まれるが、2年間の激変緩和措置がとられる。サービス利用に影響がないよう周知に努めたい。
議員 高山小児童保育所が校外に増設される。①4月入所ができない状況と聞く。児童保育所・小学校・保育園・幼稚園が子どもの情報を共有し、増設の必要性を早期に確認すべきだ。そうすれば、補正予算の計上など4月入所に対応する

市民の声にこたえ 命と生活を守る市政を



日本共産党 栗原 健治 議員

議員 国民保護計画の策定は、市民の生命と財産を守ることにならない。計画の策定をやめるべきだ。
市長 法律に基づいて対応する責務があると考ええる。
議員 医療制度改革によって、高齢者の大幅な負担増が懸念される。市はセーフティ・ネット機能を果たせよ。
市民部長 市長会を通じて国への要望を強めていく。
議員 青年の雇用問題は、依然深刻だ。就労支援施策の充実・拡大と、国へ対策を求めていくことが必要だ。
市長 「しごと」の相談窓口の充実や就職支援セミナーの実施を拡大していく。
議員 障害者自立支援法施行に伴う負担増に対して、障がい者の不安が募っている。減免制度を拡充せよ。
市長 低所得者への一部減免措置を講ずる予定だ。
議員 介護保険制度の改定によって、低所得者への大

幅な負担増が懸念される。十分なサービス提供のために、負担軽減策を拡充せよ。
健康福祉部長 保険料軽減制度の継続、利用者負担軽減制度の拡充を図りたい。
議員 子育て支援充実のため、乳幼児医療費助成制度における就学前までの所得制限を撤廃すべきだ。
市長 所得制限の大幅な緩和の対応をしている。
議員 教育の充実を図るため、30人以下の少人数学級の実現が望まれている。まず小学1年生で導入せよ。
教育長 現状では極めて困難だ。40人未満の学級編制の推進を都に要請したい。
議員 東京外郭環状道路の整備計画については、自然と住環境への悪影響が懸念される。計画に対して拒否の姿勢を示すべきだ。
市長 市民等の意見を聞いて、課題に対する要望書を国・都に提出していく。
議員 子どもの食の安全確保のため、給食調理業務の委託化はやるべきだ。
教育部長 食の安全を前提に、実施を検討していく。
議員 福祉サービスの利用料の新設・改定は、高齢者や子育て世帯への負担増となる。取りやめるべきだ。
健康福祉部長 一定の公益的負担は必要だと考える。
〈その他の質問〉憲法と平



子どもの食の安全確保が必要だ
…第三中学校ドライシステム調理場

中長期的な財政の 健全化に努めよ



政新クラブ 宍戸 治重 副幹事長

議員 市債の現在高など債務残高の合計を把握し、上限枠を設定するなど引き続き削減努力をして、新たな市民サービスや公共施設の補修整備など将来の財政需要に備えるべきだ。
企画部調整担当部長 現在の市債残高の水準から見て、残高の抑制は必要である。市債の発行額が元金償還額を超えないことを一定のめどとして進めていきたい。
議員 行政の効率化など、経常経費を減ずる年度目標を設定し、中長期的には経常収支比率が80%を切る数字を目標に改善努力せよ。
市長 財政構造の柔軟性の維持は重要な課題である。引き続き財政の健全性の維持に努めていきたい。
議員 安全安心のまちづくりは、市民との協働関係を継承・発展していく中で進めるべきだ。旧来組織との連携について所見を伺う。
市長 従来の団体との連携は不可欠だ。市民や関係団体等との協働により、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していきたい。
議員 社会全体で子育てに取組む子育ての社会化が求められている。そのためには、市民・地域がしっかりと見守るための仕組みづくりが必要だ。見解を問う。

共施設等の耐震化／行政の責任分野／公設民営保育園／生活保護家庭等見舞金事業／財源対策など
議員 平成18年度予算が執行されるにあたり、市民生活が安全安心で暮らしやすい三鷹のまちであることを期待し、市長の所見を聞く。
市長 総合的な安全安心体制の確立に向けた取り組みを推進する中で、実感してもらえたい。
議員 高環境・高福祉のまちづくりには、きめの細かい取り組みが必要だ。自転車での市内視察において、どのように認識しているか。
市長 多面的な視点での動線や移動の阻害要因を共通理解しなければならぬ。これからも、体感し取る取り組みを継続したい。
議員 本市の公共施設は、計画的、重点的な耐震改修の促進が急がれる。今後の耐震対策について聞く。
市長 「改正耐震改修促進法」等の関係法令に照らし合わせながら、対象施設の精査等に取り組むたい。
議員 待望の小・中一貫教育校がスタートする。教育の原点と、今後の学校教育についての所見を聞く。
教育長 子どもは日本の未来の宝である。子どもたち一人ひとりに合った教育の実現に取り組むたい。
〈その他の質問〉不審者情報への対応／耐震偽装と建築確認業務についてなど



貴教育校「にしみたか学園」開園記念式典
三鷹市立井口小学校・三鷹市立第二中学校
小・中一貫教育校「にしみたか学園」の開園式

市長 モデル事業の成果をまとめるとともに、市民と定着の仕組み作りについて協議をし、さらに次の地域への展開を図りたい。
議員 減災の視点からも、市民に支えられた自主防災組織の充実強化が必要だ。総務部長 今後自主防災組織の充実等に努めたい。

子どもを犯罪から守り 安全安心のまち三鷹を



公明党 丹羽 秀男 幹事長

議員 平成18年度予算が執行されるにあたり、市民生活が安全安心で暮らしやすい三鷹のまちであることを期待し、市長の所見を聞く。
市長 総合的な安全安心体制の確立に向けた取り組みを推進する中で、実感してもらえたい。
議員 高環境・高福祉のまちづくりには、きめの細かい取り組みが必要だ。自転車での市内視察において、どのように認識しているか。
市長 多面的な視点での動線や移動の阻害要因を共通理解しなければならぬ。これからも、体感し取る取り組みを継続したい。
議員 本市の公共施設は、計画的、重点的な耐震改修の促進が急がれる。今後の耐震対策について聞く。
市長 「改正耐震改修促進法」等の関係法令に照らし合わせながら、対象施設の精査等に取り組むたい。
議員 待望の小・中一貫教育校がスタートする。教育の原点と、今後の学校教育についての所見を聞く。
教育長 子どもは日本の未来の宝である。子どもたち一人ひとりに合った教育の実現に取り組むたい。
〈その他の質問〉不審者情報への対応／耐震偽装と建築確認業務についてなど